

# 農業大学校の学生及び研修生の動向

令和2年4月21日  
農業大学校

## 1 養成課程（主に高卒者を対象とし、修業期間は2年間）

### (1) 応募者・入学者の状況

入学者数は、定員30名に対し22名前後で推移し、毎年野菜コースの学生が多い。

### (2) 卒業生の進路

非農家出身の学生は農業基盤がないので農業法人等への就農を希望するが、親元での就農を予定している学生であっても先進農家の経営を学ぶために一旦は雇用による就農を希望する学生が多い。近年の就農率は59～70%で推移している。

### 【応募者・入学者の状況】

(単位：人)

入学年度	H28	H29	H30	R1	R2	
応募者数	26(1)	29	28	34(1)	26(2)	
入学者数	果樹	3	4	3	2	5
	野菜	8	5	10	8	6
	花き	1	3	4	2	2
	作物	2	3	5	4	4
	畜産	7	7	2	8	5
	計	21	22	24	24	22

( ) は社会人特別入学で、内数。

### 【卒業生の進路】

(単位：人、%)

区分	卒業年度				
	H27	H28	H29	H30	R1
就農(a)	2	0	2	3	2
農業法人等(b)	8	14	10	6	9
研修等の後就農(c)	1	0	0	1	0
就職	5	5	5	7	4
進学	0	0	1	0	1
未定	2	1	0	0	1
計(d)	18	20	18	17	17
就農率(a+b+c)/d (%)	61	70	67	59	65

## 2 研修課程

### (1) スキルアップ研修（就農を希望する社会人を対象とし、大学校内で行う技術研修）

就農希望品目に関する栽培管理の基礎を座学及び実習で習得する校内研修として実施している。長期研修は受講者9名中6名が修了し、4名が就農、2名が就農準備中である。短期研修（品目別研修）は受講者1名中1名が修了後、先進農家実践研修に移行し、継続研修中である。

(単位：人)

種別	R1 応募者数	専攻別受講者数						修了者数	
		果樹	野菜	花き	作物	畜産	計	うち 就農者	
長期研修（研修期間：1年間）	9	5	3			1	9	6	4
短期研修（研修期間：4か月）	1		1 (白ねぎ 1)				1	1	0

※(定員)スキルアップ研修(長期研修)：15名/2回・年間

スキルアップ研修(短期研修)：30名/5回・6品目・年間、( ) は品目研修別人数

### (2) 先進農家実践研修（就農を希望する社会人を対象に、先進農家で行う派遣研修。研修期間は1年間）

関係機関の就農サポート体制のもと、令和元年度中に終了した3名中2名が独立就農し、1名が実践研修を継続中。現時点で4名が各地域で研修中である。

(単位：人)

研修期間	受講者	研修地	研修品目	就農者
H30. 10. 1～R1. 9. 30	1	北栄町	醸造用ブドウ、ワイン醸造	1
H31. 2. 1～R2. 1. 31	2	倉吉市	スイカ、キャベツ、ブロッコリー	1
H31. 4. 1～R3. 3. 31	1	倉吉市	梨、ブドウ	—
R1. 6. 1～R3. 1. 31	1	琴浦町	ミニトマト	—
R1. 10. 1～R3. 1. 31	1	大山町	白ねぎ、ブロッコリー、スイートコーン	—
R2. 2. 1～R4. 1. 31	1	北栄町	スイカ、ミニトマト	—

## 3 アグリチャレンジ科（公共職業訓練：農業機械等の技能訓練を中心に行う研修。研修期間は4か月）

年間3回、各期25名を定員として募集を継続している。修了者の就農率は、令和元年度内に終了した第11期から第13期の3期平均で80%となっている。

### (1) 応募等の概況

(単位：人)

期別	訓練期間	募集定員	応募者	合格者	入校者	修了者
第11期	H31. 2. 5～R1. 5. 20	25	16	16	16	16
第12期	R1. 6. 14～9. 30	25	17	15	15	14
第13期	R1. 10. 9～R2. 1. 23	25	21	16	16	16

### (2) 修了者の進路

(単位：人、%)

種別	雇用就農(A)	自営就農(B)	親元就農(C)	研修後就農(D)	農外就職	農外起業	未定	合計(E)	就農率(%) (A+B+C+D)/E
第11期	8	1	3	3	0	0	1	16	93.8
第12期	5	1	3	0	2	0	3	14	64.3
第13期	1	1	2	9	0	0	3	16	81.3